



大蔵だより

- 発行日：平成27年9月5日
- 発行：大蔵地域自治協議会
広報委員会
- 住所：朝来市和田山町宮田186番地3
大蔵市民会館
TEL 079-672-5651 (ファックス兼用)
Email ookura186-3@asago-net.jp

「じろはったん」生みの親 森はな先生の胸像を建立します

森はなさんは、宮田出身の児童文学作家です。養父市、朝来市、高砂市での32年間の教員生活を経て、退職後、童話を本格的に執筆されました。

戦前から戦後の但馬を舞台に、知的障害のある青年と村の人々との心の交流を柔らかな但馬弁で綴った最初の作品「じろはったん」で日本児童文学者協会新人賞を受賞し、“遅咲きの新人”として脚光を浴びました。続いて「こんこんさまにさしあげそうろう」で絵本にっぽん大賞を受賞するなど、80歳で亡くなるまで、ふるさと但馬の風景を舞台にした物語を世に出されました。ふるさと但馬・大蔵の言葉をつかった、ぬくもりのある作品は、世代を超えて多くの人々に愛されています。

そして、大蔵地域自治協議会及び大蔵小学校では、「じろはったん」で伝えられ



▲森はな先生の代表作
「じろはったん」

た「心のやさしさ、人への思いやり、いとおしむ心」を大切に、これを大蔵の誇りとして後世に引き継いでいく取り組みを続けております。

そういった中で、このたび、去る2月16日に急逝された故斉賀校長先生のご遺族から、大蔵小学校への御寄附の申し入れがあり、この使い道として、森はな先生の像を校庭に建立することになりました。

しかし、建立計画を進める中で、予算的に像の台座に相当する額（およそ40万円）が、不足することがわかり、地域自治協議会では、学校教育の環境整備に地域も協力しようと、寄付を募ることと致しました。

森はな先生の胸像建立のための寄付趣意書は、各区長さんを通じてすでにお知らせしておりますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



▲大蔵小学校に森はな先生の胸像建立

「森はな先生からのメッセージ」を終えて

去る7月25日、和田山ジュピターホールにて「森はな先生からのメッセージ」が開催されました。

第一部で披露された、大蔵小学校4年、5年、6年の皆さんによる歌物語「じろはったん」は、大蔵小学校で長年歌い続けられている歌物語です。皆さんの一生懸命な演技から「じろはったん」の思いやり、ふるさとを愛する心、平和を大切にする気持ちが伝わってきて心打たれました。

第二部は市原悦子さんによる、心に響く「じろはったん」の朗読が行われました。

大蔵地域自治協議会は、「じろはったんの会」が作成した大きな絵巻の前で、じろはったんせんべい・じろはったんまんじゅう等の販売を行い、好評のうち完売しました。



▲大きな絵巻の前で販売

まなびたい部会

地域と繋がるまなび隊活動

「大蔵まなび隊」では、「大蔵」という地域を知ることも一つの目的としています。そのため、地区内の色々なところへ赴いて、様々な活動を行っています。

1学期中は、鳶が城へ登ったり、高瀬のお地蔵さんを見て回ったり、寺谷の川原で石の観察をしたりしました。中でも鳶が城登山では、中嶋校長先生や隊員の保護者の方々など、地域の大人の方にもたくさん参加していただき、交流を持つことが出来ました。



▲ 鳶が城に34名で登山しました

2学期には、文化祭への出演という大仕事が待っています。素晴らしい舞台となるよう、頑張って練習したいと思います。応援よろしくお願いします。
(文責 川見 由紀)

山野草会が睡蓮池を見学

おおくら山野草会では7月8日、日高町で休耕田を睡蓮池に作り替えた池をメンバー16名で見学しました。色とりどりの睡蓮が咲き誇り、池の周りに植えられた季節の花、山野草等も一行を迎えてくれ、一服の涼しさを味わった一日でした。

(文責 中島 授一郎)



▲ 睡蓮池の見学会

環境学習支援事業始動

環境部会

こども園、小学校全学年を対象とした環境学習支援事業は、学校近くの実習田等で農作物の苗を植え付け、収穫までを体験する流れは定着しています。本年度も各種の苗を植える適期となり、部会員が積極的に作業を支援しました。

5月21日に、1年生とこども園の園児がサツマイモの苗を植えました。植えた後に持参したジョウロで溝から汲んだ水をやりました。

同じ日に6年生は学校の窓際にゴーヤの苗を植え、エコ対策としてグリーンカーテンづくりに着手しました。ゴーヤは野菜か果物かの質問に、果物であると答えた児童もありました。

6月12日には好天に恵まれる中、5年生が裸足で泥田に入り、もち米

(紅吉兆)の苗を手で植えました。尻もちをついた児童もいましたが、手際よく作業をしました。

6月22日には、3・4年生が黒大豆、2年生は紅シソと落花生の苗を植えました。前日の雷雨のため、圃場のぬかるみがあり、長靴を履いていない児童は裸足で作業をしました。裸足の作業も児童にとって



▲ 5年生は慣れない手つきで田植え体験

楽しかったようです。それぞれの作物の成長と児童、園児の成長、そして豊かな収穫が楽しみです。

(文責 藤岡 正人)



▲ サツマイモの植え方を教わる1年生



▲ 裸足で紅シソの苗を植える2年生

交流と魅力づくり部会

鳥取県智頭町視察研修

交流と魅力づくり部会では7月20日に、鳥取県智頭町のまちづくりを17名で視察に行きました。

智頭町は鳥取市の南西部の中国山地に位置する古い宿場町で、但馬からは比較的近い所です。人口約7千人の小さな町で、面積の93%が山地で占められています（朝来市は83%）。人口のピークであった昭和30年の1万4千人からすでに現在までに半減しており、人口減少問題は、長年の最大テーマであり、我々の大先輩というわけです。



▲ 近代和風建築の傑作である「石谷家住宅」

午前中は、町役場の方を講師に、これまでのまちづくり施策の主なものを紹介してもらいました。中でも空家対策として、町が空家を借り上げ、町で改修して賃貸するシステムは、私達が大蔵で構想しているシステムそのものであり、先進事例として大いに参考になるものでした。

午後は、宿場町智頭の伝統住宅や町並みの視察、又人里離れた過疎村の伝統的建築群を興味深く見学しました。（文責 横尾 正信）

かしの木園、おくらべ周りの奉仕活動

健康福祉部会

大きな台風が近づいていた7月18日、健康福祉部会の部会員と有志による、かしの木園、おくらべ周りの奉仕活動を行いました。

毎年、とても暑い奉仕活動になりますが、台風の影響で例年にはない活動しやすい気温となりました。木の剪定、草刈り、掃除など皆さん手際よく作業が進みました。今年は21名の方が奉仕活動に参加していただきました。少し涼しいと言えども動き出すと、すぐ汗びしょりになり、皆さん本当にお疲れ様でした。（文責 小川 高行）



▲ 21名の参加で奉仕活動

お知らせ



下記日程でグラウンドゴルフ大会を開催いたします。初心者からベテランの方まで是非ご参加ください。

グラウンドゴルフ
Ground Golf
9月26日

日時 9月26日(土) 午前8:00～

場所 はさまじ里山の森公園

参加費 無料

※詳しくは回覧チラシにて案内します。

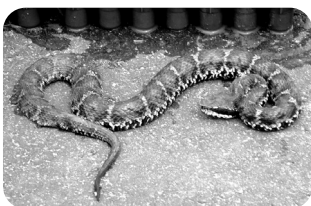
生活安全部会

マムシにご注意ください

① 安全パトロールを実施…生活安全部会員による「大蔵地区防犯・夏休みの子供安全みまわりパトロール」を7月19日から8月7日まで実施しました。大蔵地区全域を夕方から夜にかけて2時間ほどパトロールしました。

皆さんも子供たちの安全、大蔵地区の防犯にご協力お願い致します。

② マムシにご注意下さい…今年は、例年になくマムシの目撃情報が多数あります。マムシは臆病・夜行性で昼間は行動しませんが、8月から10月は産期でメスは昼夜問わず餌を探して動きまわり、自らの代謝を上げ子供の発育を良くするために日向ぼっこも積極的に行うなど、人と接触する機会が必然的に多くなり、咬傷事故が起き



▲ マムシに絶対触らないで

やすくなります。したがって、むやみに草むら(水気のある)や大きな石の陰などに近づかない。又ヘビを見つけても捕まえようとしないことが大事です。万が一咬まれても慌てずに水道水がある場合傷口を洗い、安静にし、すぐに病院にいき適切な処置をすれば大丈夫です。足下にはじゅうぶんに注意下さい。

（文責 阿野 幸司）

お知らせ

朝来市地域医療・健康課主催の健康づくり活動に、大蔵地域自治協議会と一緒に取り組んでいきます。

健康づくり講演会

お口の健康づくりについて



- 参加無料
- 申込み必要なし

平成27年 **9月25日(金)**

午後7時～8時30分
大蔵市民会館2階

ひろはったん エクササイズ 参加者募集!

とらふす道場から先生を迎え、大蔵市民会館にて、健康づくりのための運動教室を開催します。

昼のコース、夜のコースそれぞれ5回行います。●参加無料
ぜひ、お申し込みの上、ご参加ください! ●事前申込みが必要

お問い合わせ・申込み先/大蔵地域自治協議会 TEL:672-5651

※どちらもチラシが全戸配布されていますので、エクササイズ日程など詳しくはチラシをご覧ください。

ふるさと大蔵

わがむら歳時記

西土田区



大蔵地区内の各区で大切に守られている行事などを紹介するコーナーです。第8回目は西土田区です。

西土田区の秋祭りイベント

西土田区長 谷口 正士

西土田区では、毎年10月の第2日曜日に秋祭りイベントを開催しています。

午前中は、幼小育成会が中心となり子供神輿が集落を練り歩きます。小さな子供たちが先頭になり神輿の紅白の綱を一生懸命引っ張ります。ワッショイ、ワッショイと元気よく大きな声を出しながら練り歩きます。

午後からは、子供たちお待ちかねのスピードくじの始まりです。お気に入りのおもちゃを狙って行列が出来るくらい大人気です。

その他には、たこ焼き・から揚げ・ジュース・酒類も販売され、後半は、景品が当たるビンゴゲームや餅まきなど、沢山の参加者でにぎわいます。

日が暮れると、大人神輿も出発し集落を力強く練り歩き、イベントの最後を締めくくります。

近年、西土田区でも児童数が減少傾向にあり、今後継続が少し心配されますが、今年も子供たちの元気な声は大空に響きわたると思います。



▲夜は大人神輿で盛り上がります

大蔵地区 文化祭

11月14日(土)

15日(日)

じろはったん村まつり

11月15日(日)

今年は11月に、大蔵の「文化祭」と「じろはったん村まつり」を開催いたします。

今年も、屋台、芸能発表会、展示品など各地区、多くの皆さまのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊の活動報告

高田 尚希

いつも温かいご支援をいただき有難うございます。毎日を忙しく、丁寧に暮らしています。

燃料の薪は必需品になりました。畑ではトマトが旬を終え、秋冬に向け岩津ネギを植えました。梅干しや、燻製作りも始めています。

9月には狩猟免許を取得予定です。そして協力隊の先輩と、鹿肉処理施設の立上げを計画しています。全てにおいて未熟ですが、皆様から教わりながら少しずつ学んでいこうと思います。これからもご指導の程宜しくお願い致します。



▲燻製作りにチャレンジ